

学年教育目標

かしこく・やさしく・たくましい子の育成

- ・自己実現に向けて、自ら考え表現できる子
- ・自分も友達も大切に、互いに認め合い、共働する子
- ・課題解決に向けて、粘り強く取り組む子

今年度の重点目標

- ・やさしい話し方 あたたかな聴き方をしよう
- ・自分で考え、良いと思ったことは進んで実行しよう
良くないと思ったことは、しない強さをもとう

学年経営方針

- 1)一人一人に確かな学力を育む学校 2)みんなが尊重し合う学校 3)みんなが元気で健康な学校 4)保護者・地域から信頼される開かれた学校 5)ともに学び合い支え合う教職員(チーム上作延)

1) 確かな学力の育成 「学ぶ楽しさ」

- ともに学び、高め合う喜びを実感できる授業づくり
 - ・身に付ける力を明確にし、単元の初めに児童に提示するようにした。
 - ・国語科と総合的な学習の時間とのカリキュラムマネジメント重点をおき取り組んだ。
 - ・すべての教科において、自分の考えをしっかりとめて考えられる課題の工夫を意識した。
 - ・かみさく聴き方・話し方ステップシートを基本としたやさしい話し方、あたたかな聴き方を実践した。
- 支援教育の充実
 - ・個に応じた指導、支援の在り方を考えた。
 - ・支援の手立てを学年で共有し、実践した。
- GIGAスクール構想の推進
 - ・ギガ端末の使用における約束事を徹底指導した。
 - ・道徳の時間を活用しモラルやマナーについて考える時間を設けた。

かわさき教育プラン 「自主・自立」「共生・協働」

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

(6)年生

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

2) 豊かな心とたくましい実践力の育成 「自主 認め合い」

- 自尊心を高め、豊かな人間関係を築く教育の充実
 - ・効果測定、共生*共育プログラムを活用した学級指導を実践した。
 - ・一人一役の実行委員への取組を実施した。
 - ・異学年(1年生)との関わりを軸とした下級生との交流を通して、思いやりをもって相手に接することのよさを学べるようにした。
- 夢や希望をもち主体的に活動する態度の育成
 - ・委員会活動の取組を通して、主体的に活動する姿勢を育成した。
 - ・キャリア在り方生き方ノートを基本とした、キャリア教育を実践した。ゲストティーチャー(読売巨人軍女子選手)を招き、将来のキャリア形成について考える機会を設けた。
- 児童理解、教育相談の充実
 - ・生活目標の定期的な振り返りを実施した。
 - ・児童指導について学年内で共有し、支援に役立てた。
 - ・支援教育コーディネーターとの連携を密にして児童支援にあたった。

3) 健やかな心身の育成と安全・安心な学校生活づくり「安心・安全」

- 心身ともに安全で健康な生活を自ら実践する態度の育成
 - ・基本的生活習慣の確立(挨拶、時間厳守)を促した。
 - ・食育、保健指導を通して心身の健康について考えられるようにした。
 - ・きらきらタイムを通した運動習慣作りを支援した。
- 安全教育の充実
 - ・廊下、階段歩行のルールについて指導した。
 - ・避難訓練、防災教室、防犯教育などを通して命を守る行動を考え身に付けることができた。
 - ・情報モラルについて、道徳や学活の時間に動画視聴を通して考えた。

4) 地域に根ざした特色ある学校づくり 「つながり」

- 開かれた学校づくり
 - ・学校HPで、学年の様子をタイムリーに公開した。
 - ・校区の中学校体験への参加を通して、中学進学への期待を持つことができた。
 - ・ベルリラ鼓隊など、学校独自の取組を学校公開日やふれあい音楽祭で発表した。
- 地域への愛着と誇りの確立
 - ・地域の防災について考えたことをパンフレットにして発信した。高津区の地域イベントにて、全児童のパンフレットを展示した。

5) 教職員の指導力の向上 「組織として動く チーム力」

- 児童理解力・指導力の向上
 - ・学年内交換授業を実践し、学年全体で児童指導にあたった。
 - ・校内研究、校内研修を通して教員の指導力を向上させるようにした。
 - ・一人一人に丁寧に寄り添うことで、よりよい集団形成ができるようにした。
- 支え合う学年担任の意識づくり
 - ・情報の共有と児童への迅速で丁寧な対応を心掛けてきた。
 - ・授業や行事において、学年で足並みをそろえた実践をすることを大切に取組んだ。